

平成26年3月10日
国土交通省 九州地方整備局
大隅河川国道事務所

記者発表資料

カラー舗装で事故対策を実施します！

～現地で対策会議を実施！～

- 大隅河川国道事務所では、平成22年度から事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の取り組みを実施してきており、交通事故の発生状況等を分析した上で対策を実施しています。
- 今回実施する予定の交差点部のカラー舗装は、事故ゼロプランを実施した平成22年度からは14箇所実施しており、その効果として、事故件数が減少しています（別紙1参照）。
- 今回、実施する予定の志布志市志布志町^{ちょう}帖地区の国道220号は、下り坂の途中にカーブがあり、その後、交差点が2箇所連続しているため追突事故等が多く発生しています（別紙2参照）。
- そこで、下記のとおり志布志警察署、志布志市役所、大隅河川国道事務所では事故対策の内容を現地で確認し、平成26年度中に対策工事を実施する予定です。

【場 所】 国道220号 鹿児島県志布志市志布志町
(権現橋^{ごんげん}交差点付近)

【実施日】 平成26年3月12日（水）14：00～

【集合場所】 志布志市志布志町^{ごんげん}権現橋交差点 （※駐車場無し）

【参加予定者】 志布志警察署、志布志市役所、大隅河川国道事務所

<お問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

TEL 0994-65-2541（代表） URL: [http:// www.qsr.mlit.go.jp/osumi/](http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/)

技術副所長 永利^{ながとし} 信太郎^{しんたろう}（内線 205）

道路管理課長 中島^{なかしま} 浩二^{こうじ}（内線 431）

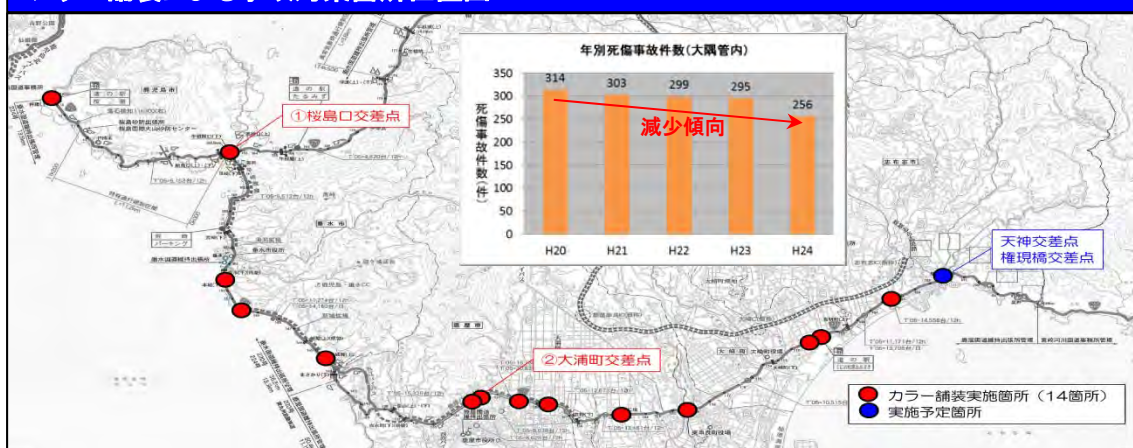
カラー舗装による事故対策

1. 概要

大隅河川国道事務所が管理する国道220号、224号では、年間約300件の死傷事故が発生しています。当事務所では、平成22年度から事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の取り組みを行っているところであり、事故対策の一つであるカラー舗装は、14箇所実施しています。

今回実施する志布志市志布志町の天神交差点および権現橋交差点におきましても、交通事故を減少させるため、カラー舗装を行います。

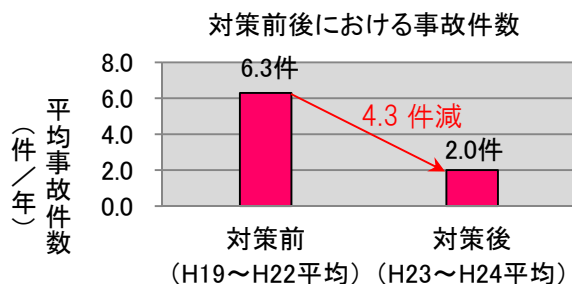
カラー舗装による事故対策箇所位置図



2. 整備効果

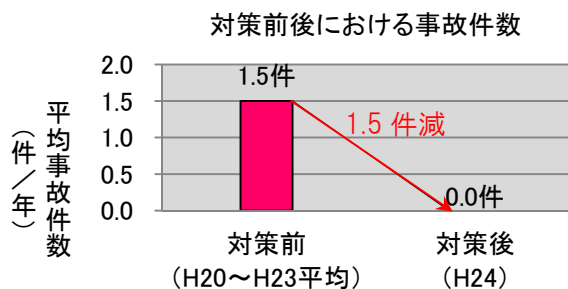
① 桜島口交差点の事故が減少

走行レーンを色分けしたことで、交差点での走行位置がわかりやすくなり、事故が約7割減少しました。



② 大浦町交差点の事故が減少

交差点をカラー舗装し、交差点の存在を運転者に認知させたことで、整備後、事故は1件も発生していません。

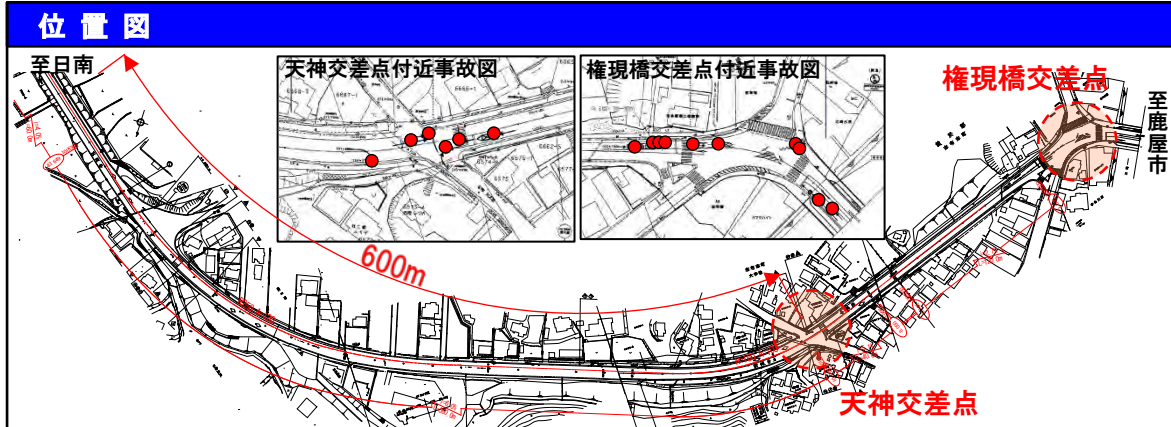


天神交差点 権現橋交差点の現状と対策

1. 現状

国道 220 号の天神交差点～権現橋交差点区間の道路構造は、道路縦断が天神交差点の 600m 手前（日南側）から権現橋交差点にかけて、長い下り勾配である。

当該区間における事故は平成 17 年から平成 24 年の 8 年間に、天神交差点：6 件、権現橋交差点：10 件の計 16 件発生しており、発生した事故の約 6 割が追突事故である。



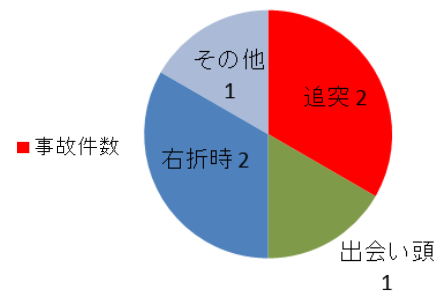
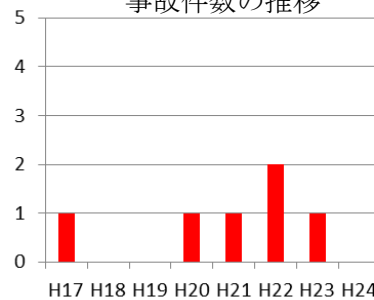
《天神交差点》



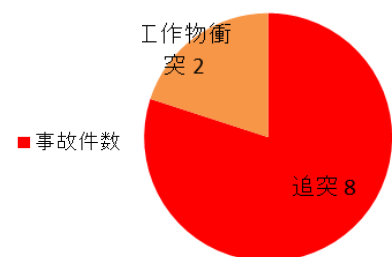
《権現橋交差点》



事故件数の推移



事故件数の推移



2. 事故要因

交差点手前（日南側）は長い下り勾配であるため、**交差点進入車両の速度が出やすい**。また、交差点が曲線区間にあるため、**交差点の存在を認知しにくい**。そのため、事故は「交差点における前方車両の急停止・急減速や従道路からの流入車両への対応の遅れ」や、「カーブ区間におけるハンドル操作の遅れ」により発生したものと考えられる。

3. 対策

- ・交差点進入車両の**走行速度を抑制**する。
- ・**交差点の存在を明瞭**にする。